

「かまど」や「うまや」って、何に使っていたの？
**帝塚山大学の学生と大学院生が、「みんなく秋まつり」で
 古民家を会場に「奈良の昔の家」を学ぶワークショップ
 11月21日(土)、22日(日)10:00-16:00 県立民俗博物館**

帝塚山大学(学長:蓮花一己 所在地:奈良市帝塚山7-1-1)文学部日本文化学科の学生と人文科学研究科の大学院生が、11月21日(土)、22日(日)の10:00から奈良県立奈良民俗博物館(大和郡山市谷田町)で開催の「みんなく秋まつり」において、「奈良の昔の家」について学ぶ体験型イベント「クイズ!むかしの家」を実施します。

【本件のポイント】

- 本学文学部日本文化学科の学生と人文科学研究科の学生25名が、「みんなく秋まつり」の期間内の11月21日(土)、22日(日)の両日、県立民俗博物館内の古民家「旧萩原家」で奈良の昔の家と道具について学ぶクイズ型ワークショップを実施。実際の古民家を体験しながら、動画と学生の解説で昔の暮らしについて知識を深める。
- 当日配布する学生・院生作のリーフレットは、QRコードで読み込むとクイズの回答が動画で案内される。動画は民俗学の観点で監修されたもの。
- 日本文化を学ぶ留学生と日本人学生による昔話の朗読動画も公開。5か国語で奈良の昔話を楽しめる。

当日は、本学文学部日本文化学科の高田照世教授(専門:民俗学)のゼミ生ら25名(両日合計)が、**同博物館内にある古民家の旧萩原家を会場に、かやぶき屋根や、かまど、納戸、馬屋などの実物を見てもらいながら、昔の家や道具にまつわるクイズ**を行い、「奈良の昔の暮らし」について楽しく学ぶ機会を提供します。

参加者に当日配布される、学生と大学院生が作った教材用のリーフレットは、QRコードでクイズの回答が読み込めるようになっており、「民俗学」の観点で学生が制作した**動画でクイズの回答が案内**される仕組み。そのほかにもお楽しみ企画として、本学で日本文化を学ぶ留学生が英語や中国語、アラビア語、マレーシア語、日本語(日本語は日本人が朗読)の**5か国語で、奈良に伝わる昔話『大和のかえると河内のかえり』を朗読した動画**も収められています。実際の古民家を体験しながら、動画と学生の解説とで三重に楽しめるワークショップです。

会場の古民家「旧萩原家」



【クイズ!むかしの家】

日時:2020年11月21日(土)~11月22日(日)10:00-16:00

※みんなく秋まつりは、21日(土)~23日(月・祝)の開催

場所:奈良県立大和民俗公園内の古民家「旧萩原家」(大和郡山市矢田町545番地)

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をくださいますようお願い申し上げます。

取材に関する
お問合せ
発信者

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp

